

## 水痘（みずぼうそう）



病原体：水痘・帯状疱疹ウイルスによる伝染力の強い熱性疾患です。

感染経路：飛沫感染、接触感染のほか、空気感染があると考えられています。

潜伏期間：10～20 日間（おおむね 2 週間）

患者年齢：主に幼児の病気ですが、罹ったことがなければ大人でもうつります。



《**症状**》特徴的な発疹が、おなかや背中、顔や頭皮、口の中や陰部にも発生します。発疹発生の前後から 38℃ くらいの熱が 2～3 日出ることも多いです。赤い発疹が経過とともに水ぶくれを作り、最後に黒いかさぶた（痂皮）を作って治ります。ピークは 2～3 日、痂皮化までは平均して 1 週間です。強いかゆみや痛みを伴います。

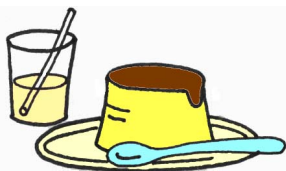
《**診断**》特徴的な診察所見と周囲の流行状況から診断します。

《**治療**》対症療法（軟膏や飲み薬）のほか、この病気には抗ウイルス薬があり、病初期であればある程度効きます。二次感染の予防に抗生物質を使うこともあります。

《**予防**》予防接種は 80% 以上で有効です。基礎疾患のある人は重症化しやすいので、患者と接触した後でも予防接種の対象（重症化の予防）になることがあります。

《**合併症**》細菌による皮膚の二次感染のほか、頻度は少ないものの肺炎、脳炎、小脳失調、肝炎、血小板減少症などが知られています。また、白血病など抵抗力の弱っている人や妊婦、胎児や新生児が罹患した際にはしばしば重篤化します。なお、ウイルスは水痘の治癒後、からだの内部に潜伏し、後に帯状疱疹の原因になります。

### ※家庭での注意点※



- ・かき壊さないよう爪は短く切りましょう。赤ちゃんなら手袋をするのも良いでしょう。
- ・二次感染予防のために皮膚は清潔を保ちましょう。肌着は毎日着替え、元気が良ければ入浴やシャワー浴も構いません。
- ・口の中にできると痛いので、酸っぱいものや辛いものは避けましょう。

### 「こんなときはもう一度診察を！」



- ・発疹が真っ赤にはれて化膿したとき
- ・ぐったり、ぼんやりと元気がないとき
- ・熱が 4 日間以上続くとき
- ・その他、ふつうの水ぼうそうの経過（上に書かれているような）ではなくなってきたとき

### 「学校・幼稚園・保育園は？」



- ・他のこどもにうつさないように休ませます。
- ・1 週間くらいして発疹がすべて黒く痂皮化したら、もう一度診察を受けてください。
- ・指定の証明書が必要な場合があります。幼稚園などに問い合わせてください。